



バンビーニガーデンで、種まき・苗植え→発芽→成長→収穫までの営みを体験していきたいと思っています。野菜を育てることで幼児期に育てたい感覚を使う体験をすることができます。
見て、触って、においをかいで、音を聞いて、味わって、さらに料理につなげていくこともできますね。
この秋冬も、種まき、水やり、観察、収穫などその時にしかできない体験をできる様に準備していきたいと思っています。

秋から冬にかけてのガーデン



<二十日大根>

種まきから約20日ほどで収穫できるので何回かにわけて種を蒔き収穫の機会が作れるようしています。発芽したばかりのハートの葉がかわいらしく、本葉との違いにも気づくかな？

<ブロッコリー><芽キャベツ><ミニキャロット>

現在すくすく成長中です！

<イチゴの苗>



来年春の収穫に向けランナーから芽を出した子株を植え替えました。子株は利用者さんにもあげられています。おうちでも水やりし観察し育てているそうです。来春の収穫が楽しみです！

*室内開放後に収穫体験も楽しめますので、是非収穫体験にいらしてください。お待ちしております。



なんでも口に入れて困る！どうすればいい？

小さいお子さんをお持ちのお母さんは、何でも口に入れて困ったり心配になったりする経験がありませんか？赤ちゃんは、手の届く範囲にある物は何でも口に入れてしまうので、誤飲や衛生面も心配になる所ですね。そして、この先もずっと口に入れてしまうのかな・・・と不安もあると思います。赤ちゃんが様々な物を口に入れる行為には理由があります。赤ちゃんにとって口に入れること＝それがどんな物なのか確かめることなのです。赤ちゃんはまだ、手足の動きや、感覚が未発達です。それに対して口は、ママのおっぱいを飲む必要があるため、その準備をして発達した状態で生まれてきます。赤ちゃんにとって一番器用に使えるのが口。口や舌で、味や硬さ、温度や表面の状態などを確かめ判断しているのです。口に入れるということは、判断がつかないうちは、当たり前な行為なのです。1歳頃までは、手より口の感覚の方が発達していますが、徐々に手の方が発達し、器用に使えるようになっていくと、手当たり次第口に入れることは減っていきます。また、ご飯を食べ始め味覚も発達していくので、食べられるもの、食べられないものの区別もつきはじめます。とは言ってもやはり不安はありますよね。誤飲や衛生面に対する心配は、周りの大人が取り除いてあげましょう。口に入れて危険なもの、入れられて困るものは手の届かない所に置いておく、子どもの見えない所へしまっておく。おもちゃ等で、誤飲の可能性がありそうな小さな飾りや、ボタンなどが付いているものは、事前に飾り等を外しておく、など安全を守っていく環境作りは大切なことです。口に入れるという行為は、子どもが成長していく上でとても、重要なことです。無理にやめさせず、子どもの好奇心を大切に、成長にあわせた環境を作ってあげ、育ちを安全に見守ってあげましょう。



☆子育て塾のご案内☆

～心で伝えるモンテッソーリ～
ママがしあわせ♡こどもがしあわせ

テーマ 『さぐる』

- ・敏感期とこだわり
- ・意思意識の発達
- ・イライラのわけを探るシェア

日時： 11月26日(火)

10:30~11:30

場所： ちゃいるどはうす保育園ホール

定員： 10組程度

講師： 猪瀬 理恵先生

参加方法： 029-241-5007 までお電話ください

☆体験とあそびの広場☆

★おやこで運動あそび！★

日時： 11月20日(水)

10:00~10:30

場所： ちゃいるどはうす保育園ホール

対象： 1歳児(歩行ができるお子さま～)

定員： 8組程度

持ち物： 飲み物、タオル

講師： 木村 明日香先生

(幼児体育講師)

参加方法： 029-241-5007 までお電話ください

